

# いわき市農業委員会第22回農政振興部会議事録

## 1 開催日時

平成29年6月20日（火）14時50分から15時50分

## 2 開催場所

いわき市役所東分庁舎5階 会議室

## 3 出席者（26人）

### (1) いわき市農業委員会農政振興部会（23人）

部会長 4番 渡邊 和夫

部会長職務代理者 1番 根内 一彰

委員

2番 阿部 浩二

3番 三戸 進

5番 藁谷 昭夫

6番 吉田 忠夫

7番 松本 英人

8番 愛川 卓司

9番 赤津 弘恭

10番 田山 一郎

12番 根本 俊男

13番 和田 正人

14番 瀬谷 弘

15番 油座 勝三

16番 猪狩 和一

17番 木田 幸男

18番 渡邊 雄八

19番 鈴木 理

20番 佐藤 哲男

21番 佐藤 吉行

22番 赤津 正身

23番 小泉 昌男

24番 （欠員）

25番 小川 智

### (2) 事務局（3人）

鈴木 一徳 事務局次長

野木 隆司 農政振興係長

小川 誉史 農政振興係 主査

## 4 欠席者（1人）

11番 木田テイ子

## 5 会議の概要

渡邊部会長  
(議長)

ご案内の時間となりましたので、只今より、第22回農政振興部会を開催致します。

本日の通告欠席は、

議席番号 11番 木田 テイ子 委員 以上1名でございます。

只今、24名中23名が出席しており、本日の部会が成立しましたことをご報告申し上げます。

次に、議事録署名人の指名であります。署名人2名を議長が指名することにご異議ございませんか。

委 員

－異議無し－

渡邊部会長  
(議長)

ご異議が無いようでありますので、指名致します。

議席番号 2番 阿部 浩二 委員

3番 三戸 進 委員 以上2名を指名致します。

続きまして、前回開催されました農地部会の報告を求めます。

事務局  
(鈴木次長)

それでは事務局より、去る平成29年5月19日に開催されました第23回農地部会におきます審議結果についてご報告いたします。

参考資料①をご覧ください。

議案第1号 農地法第3条許可申請につきましては、21件、計43,914㎡について許可してございます。

議案第2号 農地法第4条許可申請につきましては、1件、116㎡について許可してございます。

議案第3号 農地法第5条許可申請につきましては、5件、計5,009.88㎡について許可してございます。

議案第4号 いわき市農用地利用集積計画につきましては、22件、計53,305㎡について決定してございます。

議案第5号 農地中間管理事業に係る農用地利用配分計画(案)については、特に意見なく決定しております。

次に、報告第1号 農地法第4条農地転用届出につきましては、6件、計6,587㎡を事務局長専決としてございます。

報告第2号 農地法第5条農地転用届出につきましては、18件、計11,494.27㎡を事務局長専決としてございます。

報告第3号 農地法第18条第6項による合意解約通知につきましては、3件、4,425㎡を事務局長専決としてございます。

報告第4号 引き続き農業経営を行っている旨の証明書につきましては、租税特別措置法の規定に基づきまして、1件、7,516㎡を事

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局<br>(鈴木次長) | <p>務局長専決としてございます。</p> <p>前回の農地部会の報告は以上でございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 渡邊部会長<br>(議長) | <p>ありがとうございました。それでは議事に入ります。</p> <p>農地等の利用の最適化の推進に関する意見等について、事務局より説明願います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 事務局<br>(小川主査) | <p>本日は、前回に引き続き提出意見に係る議論をお願いしたいと考えております。</p> <p>まずは前回のお浸いをさせていただきます。</p> <p>前回の部会では、5月10日期限として農業委員の皆様から提出いただきました意見の取りまとめ結果を報告させていただき、内容としては、平成28年度に作成しました意見と同様の内容に集約されることから、平成28年度意見を時点修正、内容の掘り下げにより、平成29年度意見の整理を進めることについて説明させていただきました。</p> <p>その上で、意見内容を掘り下げるにあたり、農業委員の皆様の現場意見をさらに頂戴したい項目を議題とし、様々なご意見を頂戴したところでございます。</p> <p>前回の議論の結果等をまとめました資料1をご覧ください。</p> <p>1項目目の農地集積のメリット・デメリットと地域の実情に応じた標準的な営農モデルにつきましては、作業効率化のメリットは大きいとされる一方、浮き苗被害の心配も考えらえるとのことでしたが、金銭的な負担を伴うものの、基本的に農地集積のメリットは大きいとのことご意見で、収益予想を踏まえた目指す経営規模の見極めが肝要とのことご意見に集約されたところです。</p> <p>経営規模の見極めに要する判断材料として、農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想において、いわき市における代表的な営農類型が示された資料と、当日部会終了後に回収させていただきましたが、県の内部資料となります営農類型毎の標準的な所得モデルの資料を配付し、ご確認いただいたところです。</p> <p>いわき市における各営農類型の標準的な所得等の指標は、農地の集積・集約化、新規参入の促進に大きく寄与する情報のため、指標等の設定が望まれる、として原案の整理を進めさせていただきます。</p> <p>また、この議論の際に猪狩委員から基盤整備した圃場を細分化することは可能かとのことご質問があり、基本的には出来ないと思われるが確認して報告すると前回部会で回答したところですが、補助事業を活用して基盤整備を進めた圃場を、細分化して活用するといったことは認められないとの回答を改めてさせていただきます。</p> |

事務局  
(小川主査)

2項目目の大型農業用機械等のリース事業体については、様々なご意見をいただき、農業委員の皆様がそれぞれ思い描くリース事業の定義が異なり、大きく3つに分類されましたので、そちらを整理させていただきました。

まず「リース取引に関する会計基準」を参考とした分類として、①ファイナンス・リースに分類されるのが、リース会社が購入した物件を使用者に賃貸し、その期間中にリース料として、物件の取得費用・金利・手数料などの総額を回収する形態で、一般的に中途解約は出来ず、リース期間終了後に所有権を移転させる場合、事実上の物件購入に相当する。といった内容のものになります。

こちらを要望する際には、資金援助や補助事業の要望に分類されると考えますので、少なくともリース事業としては要望しないものと整理させていただきます。

次に、②オペレーティング・リースに分類されますのは、ファイナンス・リース以外の短期的なリースで、ファイナンス・リースより借り主の権利が低く、物件に対する影響力はリース会社が強いといもので、いわゆるリース事業に該当するものであります。

前回いただいたご意見としては、農協などが農業用機械を購入し、複数の利用者に対し利用期間を設定して順次貸し出す形態が望まれるとのことでしたが、以前からそのような議論は繰り返されており、実現に至っておらず、今後も実現は困難であろうとのご意見でございました。

また、農業委員会が市に対して意見するにあたり、期待される事業主体として具体的に農協を挙げることは表現として難しいと思われます。

次に、③農作業受託事業：オペレーター（操縦者）付きリース事業というものについてご意見がございました。

こちらはリース事業ではありませんが、需要の観点から農協に期待される事業としてご意見を頂戴しました。

②と同様、やはり実現性の問題と農業委員会が市に対して意見する内容として、農協を挙げるのが適切なのかといった問題もあります。

作業受託については、農協以外に担い手や農用地利用改善団体等の実績が市内にもございますので、受託団体等の育成については、人・農地プランの作成を通じて地域のなかで整理することが望ましいですが、今後農業委員会が推進することとなる担い手への農地集積・集約化と相反する部分がありますことから、さらに掘り下げた整理が必要となります。

農作業受委託の枠組みを整理するにあたり、農業委員の皆様から

事務局  
(小川主査)

意見として頂戴したいのは、まずは農作業受託を必要とする主体がどのような主体になるのかということでございます。

事務局で想定していますのは、比較的規模が小さい経営体、兼業農家等で農業用機械を有しない経営体、農業用機械を更新しない、または出来ない経営体、今後規模の縮小を検討している経営体などでございます。

次に、農作業受託を請け負う主体であります担い手や法人等の意向として、賃貸借等の権利設定による農地の集積・集約化と農作業受託の規模拡大、いずれが望ましいと考えられているのかでございます。作業条件が不利なため権利設定までには至らない暫定的なものとして農作業受託で対応しているといったことを事務局としては想定していますが、そのあたりの現場の声といったものを頂戴できればと思います。

次に、農作業受委託の必要性については、地域により状況が大きく異なるものと想定していますが、地域性の有無や状況についてご意見を頂戴したいと思います。

いただいた意見については、事務局で整理し、平成29年度意見の原案に反映させていただきます。

繰り返しになりますが、整理としましては、ファイナンス・リースに該当するリース事業は意見に盛り込まない。農協が農業用機械等を購入し、組合員等に貸し出すリース事業については、農業委員会が市に提出する意見としては盛り込まない。農作業受委託について、必要性があるものとして、今後農業委員会として推進することが必要であるのか、そこについては農業委員会が農地の集積・集約化を推進するうえで相反する内容となる可能性もあることから、どちらの方向性で整理を進めることが農業委員の現場の意見になるのか、そのあたりを整理するために、農作業受委託の実態の枠組みを明らかにしたく、こういった条件・状況の方が農作業を委託するのか、また農作業を受託する方の意向として、農地の集積・集約化に至らず、農作業受託で対応しているのは、こういった事情があるのか、そのあたりについて現場の声として意見をいただきたいと思います。

事務局からの説明は以上で一度区切らせていただきます。

渡邊部会長  
(議長)

ただいまの説明について、意見・質問等はありませんか。

ただいま事務局説明でありましたが、我々農業委員会として意見に盛り込むのは、農作業受託事業の枠組みとして整理を進めることになるかと思います。

7 番  
松本委員

皆さんもご存知かと思いますが、今年の2月までは仔牛の値段がもの凄く良かったが、3月以降値崩れがひどい状況です。根底にはT P Pの問題がある。

ただいま部会長がおっしゃったとおり、オペレーター付きの農作業受託をとの話も分かりますが、我々農業者としては、目の前の問題として、いかにして農産物を高く売れるのかといった環境づくり、今の状態ではいいものを作っても買い叩かれるばかりで、そちらの問題の方が意識としてはあります。

13番  
和田委員

リース事業の実態についてということですが、民間ではすでにやっていることなんですが、農業委員会として何を要望するという話になっているのか、ちょっと意味が分からないのですが。

いわき市内に、こうこうこうといった内容のリース事業がないので、要望していきましようって話なのでしょうか。

事務局  
(小川主査)

和田委員におかれましては、前回の部会を欠席されていますので、改めて説明させていただきます。

冒頭でも申し上げましたが、平成29年度意見を作成するにあたり、農業委員の皆様からご意見をいただきましたが、結果として平成28年度と同様の内容に集約されましたので、平成28年度意見を踏襲し、時点修正等加え整理を進めさせていただきます。

その際に、昨年度作成した意見においても、また今回取りまとめた意見においても、リース事業を要望するとありましたが、実際にどのようなリース事業を要望されているのかを事務局としても把握しきれておりませんので、農業委員の皆様の声として、総意として、どのようなリース事業を求めているのかをご議論いただいたところ、先ほど説明しました3つの形態が意見としてありましたので、それぞれに対する考え方を整理し、説明させていただいたところでございます。

厳密にはリース事業ではないのですが、農業委員の皆様が要望するリース事業の中身が、農作業受託事業であるとなれば、単なるリース事業といった言葉ではなく、より具体的に意見に反映させたいと考えておりますが、今後農業委員会として推進することとなる農地利用の集積・集約化と相反する内容になる恐れもありますことから、意見・要望として掲げていってもいいものなのか、その判断にあたり、実際に農作業の受委託について、どういった状況で、どういったものが求められているのか、または農地利用の集積・集約化にシフトできないものなのか、そのあたりの現場の声を意見として頂戴し、意見の原案に反映していきたいとの趣旨でございます。

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 21番<br>佐藤委員   | 私は中山間地区ということで、リース事業となると、やはり農協さんを頼ることになるのかなと思うのですが、実際にどのような事例があるのかを紹介いただければ参考になるのかなと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 渡邊部会長<br>(議長) | アメリカ、中国あたりでは麦の刈取り専門業者がいて、今後の日本でもそのような形態が必要になってくるのではと思うのですが、皆さんはいかがでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 13番<br>和田委員   | <p>全くそのとおりだと思います。</p> <p>日本の農家がこれだけ儲からない理由の一つは、大きな面積をやっている農家でも、小さな面積の農家でも、農業用機械を一式揃えなければならないといったところです。</p> <p>海外ではコントラクターシステムがしっかりしていて、300馬力のトラクター1台あれば、それで何千haも出来る訳ですよ。他の機械が必要な作業は全部それぞれの専門業者に委託する訳ですから。</p> <p>それが日本では、米をやるとなれば、乾燥機、粃摺り機、計量機、大規模農家だろうが小規模農家だろうが一式揃えなくてはならない。</p> <p>よく言われるのが、農家の人達は補助金まみれだと、その補助金は農家のためじゃなくて、農機具メーカーのための補助金なんじゃないかって思います。機械屋孝行しているようなもので、そのあたりの実情を、しっかり市民の皆さんに理解していただきたい。</p> <p>あと、先ほどの松本委員の話にありましたが、農家は大変なんだから、というのを言うのはあまり好きではない。どんな仕事でも大変なことは大変ですから。</p> <p>昨日も好間の方で田んぼに接した市道の法面刈ってくれって電話があって、それは市道の法面なのだから市に直接言って対応してもらってくださいと喉元まで出かかったのですが、農道であっても一応市道です。それらの維持管理も農業者がボランティアでやっている、そのおかげで一般の市民の方たちはジョギングや犬の散歩なんか気持ちよく出来ているわけなんですよ。</p> <p>そういったことを十分に理解してもらえれば、じゃあ一般消費者が農業者を応援する手法として、地元の農産物を積極的に購入しましょうって流れになると思うのですが、そこの理解が凄く足りてなくて、何と言いますか…</p> |
| 渡邊部会長<br>(議長) | <p>おっしゃることは凄く分かりますが、本題から外れてしまっているようなので、このあたりでよろしいでしょうか。</p> <p>オペレーター付きリース事業の主体として期待される最有力は、</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|               |                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 渡邊部会長<br>(議長) | やはり農協になるかと思います。農協の職員でオペレーターを育成してもらい、そういったことを要望していくのがいいのかなと思いますが、みなさんいかがでしょうか。                                                                                                                                    |
| 21番<br>佐藤委員   | 実際に大きく農作業の受託を請け負っている人も農業委員にいますので、そのあたりも踏まえて話を進めないといけないと思います。                                                                                                                                                     |
| 1 番<br>根内委員   | <p>実際にオペレーター付きリース事業で上手くいっている農協の事例とかがあってあるのですかね。</p> <p>そのあたりの事例について、事務局で資料を準備してもらえますか。</p>                                                                                                                       |
| 事務局<br>(小川主査) | なお、農協を主体とするオペレーター付きリース事業の必要性について議論を深めていただくことは勿論よろしいのですが、今回取りまとめます市に対する意見に盛り込むことは難しいということとはご理解頂きたいと思います。                                                                                                          |
| 1 番<br>根内委員   | あくまで参考として、出来ればお願いします。                                                                                                                                                                                            |
| 16番<br>猪狩委員   | <p>私は、基本は圃場整備だと思うんですね。</p> <p>圃場が整備されれば、自ずと機械の大型化がさらに進み、リース事業の話にしたって、条件が整えば現実味が増してきます。</p> <p>私の地元の大久地区では農地の集積が一段落ついて、担い手以外の農家では、みんな機械がいらなくなっているんですね。</p> <p>そういう状況になれば、誰かしら大型の農業用機械を整備することになってくるのかなと私は感じます。</p> |
| 渡邊部会長<br>(議長) | 私の意見としては、特に米づくりに関して、農協が主体となってオペレーター付きリース事業の実現を強く要望していくのがいいのではと思います。                                                                                                                                              |
| 13番<br>和田委員   | <p>反対という訳ではないのですが、農協とどのような関わり方をしたいということなんでしょうか。勿論、農協と関わることは関わっていく必要がありますが。</p> <p>米の先物の価格と農協で示される価格の開きが大きく、ちょっと納得できないという思いがあります。</p> <p>農協とだけ付き合うという言い方はちょっと好きではないです。</p>                                        |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 渡邊部会長<br>(議長) | <p>個人で受託をするのも可能でしょうけど、農業委員会として集約する意見としては、オペレーター付きリース事業の主体として期待されるのは農協等ということで整理していくのがいいのかなと思います。</p> <p>和田さんのように大きくやっている方は大丈夫でしょうが、小規模農家や高齢農家で農業用機械を更新出来ない方たちもいる訳で、その受け皿になるのは私や和田さんのような担い手になるのでしょうか、大きな受け皿としては農協が期待されると思います。</p>                                                                              |
| 13番<br>和田委員   | <p>そういう話をすると、また話は変わっちゃいますが、30年後には日本の人口は8,000万人を切る、農家人口は5分の1になると言われているなかで、単純な話担う農地の面積を5倍にしなければならない、農協で作業受託の仕組みを作ってもらのもいいですけど、先ほど猪狩委員が言ったように、やっぱり基盤整備が何より大事で、早急に進めていただきたい。</p>                                                                                                                                 |
| 21番<br>佐藤委員   | <p>いろんなことを考える時期に来ているのかなと思います。</p> <p>私も息子にはこれ以上米を作るなって言われています。</p> <p>田んぼは増やさないでください、出来れば作らないで欲しい。と言われます。生きているうちは好きなようにしたらいいとも言われますけど、結局米が儲からないからこういう話になるんでしょうね。</p> <p>こういう世の中で、農業委員会の意見をまとめると言っても、かなり厳しいものになるんでしょうね。</p> <p>今度農協から機械を買うか買わないか、やっぱり買うしかないのかな、そういう岐路に立たされているんですよ。元を取れないって言われても、買わざるをえない。</p> |
| 渡邊部会長<br>(議長) | <p>そういう話を聞きますと、やはりどこかでオペレーター付きリース事業を早々に構築して欲しいという話に繋がるんでしょうね。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| 21番<br>佐藤委員   | <p>時間がかかるんでしょうね。</p> <p>あんまりかかると私も年ですから死んじゃいますよ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 7番<br>松本委員    | <p>今の農協の実態を見ますと、ちょっと厳しいのかなと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 21番<br>佐藤委員   | <p>実際のところ農協ではどう思ってるんでしょうね。</p> <p>今の状況を見ると、そんなことしたら機械が売れなくなっちゃうなんて思ってるのかもしれないね。</p>                                                                                                                                                                                                                          |

21番  
佐藤委員

理想の方向性としては、部会長が言う通りだとは思いますが。  
実現したら、喜んでお願いしちゃいます。  
わざわざ機械を買うことないんですから。

5番  
藁谷委員

根本的に、米のことだけ考えているから悪いんですよ。  
農作物はいろんなものがありますから。  
和田さんのところでは麦までやってますしね。  
米のことだけ考えてたんではちょっと。  
米のほかに麦とか色々やらないと。

13番  
和田委員

米が主食って言いますけど、ここにいる委員の皆さんで、朝昼晩  
3食米を食っている人がいれば手を挙げてほしいですよ。

私は朝早いときはサンドウィッチあたりを食べています。

皆さん自覚はないかもしれませんが、農家でも皆さんのお子さん  
やお孫さんはそういうことが当たり前になってきているんです  
よ。実際そうじゃないですか。

米が主食じゃないっていう感覚が当たり前になってきている状況  
で、米づくりに拘る時代じゃないのかな。

それと、作業受託をつて話もいいんですけど、その標準額を決め  
ているのは農業委員会じゃないですか。この金額だったら、うちは  
絶対頼みません。といいますか、この金額で委託して黒字になる人  
は、多分殆どいません。さっきも少し話題に上がりましたが、アメ  
リカだったり海外のように、今の日本の10分の1で頼めるんだっ  
たら、僕も頼みたいです。まずはそういうところを議論しないと。

今日もこの後労賃の検討委員会がありますけど、作業頼んだとし  
たって、1反あたり稲刈りしてもらって、粃摺りまでやってもらっ  
て3万円、それで採算あう人いますかって話ですよ。それで頼む人  
いますか。作業受託をつて話をしている一方で、頼んだら赤字にな  
るような金額を設定しているのも農業委員会、こんなんでは話が進み  
ますかって話ですよ。

渡邊部会長  
(議長)

ところで、麦はどうなんですか。

13番  
和田委員

福島県は会津があるから米の県で、麦の方には殆ど力を入れてな  
いんですけど、日本の農業の中では高収益作物です。愛知の方では  
12俵もとれるように品種改良して収益をあげています。

麦をやって何が一番問題かと言うと、さっきの話と一部リンク  
するんですけど、普通は農協のカントリーを使って乾燥させるんで

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13番<br>和田委員   | <p>すけど、農協にお願いしても麦は受け入れてくれないので、いわきではこれ以上麦の作付けは増えないんですよ。うちの個人の乾燥機じゃ10町歩より増やすことは出来ないんですよ。麦の刈取り時期って言うのは1週間くらいしかないんですけど、麦の大規模農家と言われるところは、その1週間で30町歩から50町歩刈ります。で、そういうときに機械をリースするわけですよ。10町歩20町歩刈れるんだったら採算がぁいます。それでもオペレーター付きのリースをお願いしたら儲からないです。</p>                                                                                         |
| 1番<br>根内委員    | <p>群馬、栃木あたりの麦は凄いいじゃないですか。あの人たちはどういう方式でやっているんでしょうね。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 13番<br>和田委員   | <p>地産地消で、あれはみんなアサヒビールと提携しているんですよ。福島県にもアサヒビールはあるじゃないですか。<br/>大麦作ってやればいいんですよ。<br/>この場合、形態としては農協がアサヒビールと提携するんですけど、ビール麦は単価がいいんですよ。補助金の割合は少ないけど売値がいいんです。群馬県の館林は日本最高気温を記録するくらいで、二毛作が出来るんですよ。大麦だといわきでも出来るんですけどね。群馬スタイルは6月の頭に刈り取って、6月の後半に植える。群馬の農家さんは50町歩60町歩。向うのカントリーは麦の時期は24時間対応です。雨が降らなければ夜中だろうが常に刈ってますから。<br/>なんでやるのかって言うと、儲かるからです。</p> |
| 渡邊部会長<br>(議長) | <p>昔ですね、農業試験場の場長さんとお会いして話したら、福島県は麦の品種改良が昔は凄かったそうです。全国のトップを走ってたそうです。ところが、木村県知事の時代に育種をした人たちをみんな辞めさせてしまったということで、非常にがっかりしていたのを覚えています。<br/>育種というのは専門の人がいなくなったら終わりですから。</p>                                                                                                                                                               |
| 13番<br>和田委員   | <p>大野に木田好次さんって言う役所に勤めていた人の爺ちゃん、世界的にも有名な凄いい人がいわきにもいるんですよ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 渡邊部会長<br>(議長) | <p>貴重な時間なので、色々なご意見も聞いてみたいと思います。<br/>小泉委員、若い方代表と言うことでリース事業や作業の受委託全般について何かありませんか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 23番<br>小泉委員   | <p>僕も作業受託はやっているんですけども、受託する側からすると近い方が土地勘もあってやりやすくて、農協を通じて受託って話になったとしても、同じ管内だからいわきから郡山に話にはならないのかなと思います。</p>                                                                                                                                                                                                               |
| 1 番<br>根内委員   | <p>和田委員や小泉委員のような若い方がどんどん増えれば、こんなリースなんて話考える必要ないんですよ。</p> <p>先ほど猪狩委員が言ったとおり、しっかり基盤整備を進めて、ある程度利益を出せる環境を整えて、若い人たちを育てる。ただ、それがなかなか出来ない、だからこんなリース事業の話も出るのかなと思います。</p>                                                                                                                                                          |
| 21番<br>佐藤委員   | <p>米ばかりじゃないんだって話がありましたが、私は野菜主体ですけど、四国の香川の知り合いで、旅行に行くのに人にお願ひすると一日何万かかるとかの話があって、牛にしろ、野菜にしろ、別な農業分野についてもそういった作業受託の資料なんかあれば参考になるのかなって思います。</p> <p>和田さんのように大きくやっている人の話だと、だいぶ先の話に思えて、いまいちピンとこないものですから。</p>                                                                                                                     |
| 13番<br>和田委員   | <p>私はいわきでは大きい方ですけど、全国的には平均以下なんですよ。</p> <p>全国的には150町歩以上ないと大きいって言われたい、そういう時代なんです。</p>                                                                                                                                                                                                                                     |
| 渡邊部会長<br>(議長) | <p>他にも色々ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>渡邊委員、いかがですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 18番<br>渡邊委員   | <p>経営規模の大型化という流れの中で、そこまで踏み出せない人たちの需要としてリース事業というものも議論の対象になる訳ですが、借地農で大規模化を目指すための条件が整っていないという現状もあり、やはりそこは基盤整備を進めていくことが必要で、他の方たちもおっしゃるとおり、若い担い手が育てば、そのような議論も不要になるのかなとも思います。私の地元の夏井地区でも、200町歩くらいを大きな担い手さんに集約してしまえば、それこそ2～3軒で出来てしまうよという時代が来るかもしれない訳で、そうすると、逆に農地を手放した人たちはどのようにして生活を成り立たせていくのかという問題もあって、そのバランスは難しいのかなと思います。</p> |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18番<br>渡邊委員   | また、集積が進めば、今は地域の多くの人達で担っている農地や<br>用排水路の維持管理の負担が担い手に集中する訳ですから、そのあ<br>たりをどのようにするのかといった問題もありますね。                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 渡邊部会長<br>(議長) | 愛川委員、なにかございますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 8 番<br>愛川委員   | 先ほど猪狩委員が言ったとおりだと思います。<br>とにかくいわきは基盤整備が遅れているので、早急に進めていた<br>だきたい。<br>それと自給率を向上させる必要があると思います。<br>グローバル化が進むなかで、大規模化したからそれで問題が解決<br>するという話でもないと思います。<br>ヨーロッパ並みの自給率にしないと農産物の価格だって下がる一<br>方だと思います。<br>自給率を向上させるシステムが出来ればなと思います。                                                                                                                                                 |
| 渡邊部会長<br>(議長) | 吉田委員、なにかございますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 6 番<br>吉田委員   | 先ほどから繰り返されているとおり、和田委員や小泉委員のよう<br>な若い担い手を育てるのが大事で、そこはやはり基盤整備ですよ。<br>それしかないと思うんですよ。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 渡邊部会長<br>(議長) | 三戸委員、なにかございますか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3 番<br>三戸委員   | 私も農協の組合員ですし、それが正解とは限りませんが、先ほど<br>部会長がおっしゃったのと同じことを前から思っていました。<br>私の近くで、私よりは少し下の方なのですが、その方は2反歩ほ<br>ど借りて、全部で4反歩ほど作っていたんですけど、今年から一氣<br>にやらないって話なんですよ。<br>理由を聞いたらトラクターの買い替え時期などで、ぴったり辞め<br>ちゃったんですね。<br>今まで借りていた田んぼや自分の田んぼの草刈りだけはしっかり<br>やっているんですけど、先ほど佐藤委員が機械を買うか買わないか<br>って話をされていましたが、私の身近なその方はぴったり辞めてし<br>まって、おふくろさんは嘆いていたようですが、現実的な問題とし<br>て、今これから新しく機械を買ってというのも難しくて、選択とし |

3 番  
三戸委員

ては仕方ないのかなと思いますけど、やはり農協さんあたりでそういうときにフォローしてくれる体制をとってもらえると非常にいいのかなと思います。

渡邊部会長  
(議長)

油座委員、なにかございますか。

15番  
油座委員

非常に言いにくい話ですが、正直に言って、近年の国の施策として農協の解体に向けた動きがあり、今お話にあったような期待に応えられるだけの農協はありません。  
国の施策と我々望むものは真逆ですから。

渡邊部会長  
(議長)

意見も出尽くしたようなので、事務局においては、本日議論いただいた内容を踏まえ、意見書（案）の取りまとめを進めてください。

ほかに無いようですので、これをもちまして、第22回農政振興部会を閉会します。（午後4時）